

スポーツ交流施設安全祈願祭

無事完成を祈願

大崎町

大崎町スポーツ交流施設(宝、久徳建設)、設計事務所(久徳建設)の両関係者ら約50人が、消防分団(新築)の落成式に出席し、工事期間中の無事故・無事完成を祈願した。同日の現地であった。

OTCグループ(ユニミコーポレーション、財)

事業は、県が進めるトレーニング施設と隣接する旧菱田中学校の跡地(約2万坪)に、PFI方式を採用して、合宿・宿泊・商業施設等の拠点施設ほか、消防分団の整備を行うもの。学校施設解体と先行して菱田消防分団詰所(W型平屋建て170坪)の新築に着手し、2019年7月の完成を目指す。

祈願祭には、東崎弘町長をはじめ、OTCグループの構成企業らも出席。関係者が神前に玉を捧げ、工期内の安全施工を祈った。

直会では、グループ代表企業のユニミコーポレーションの弓場昭大社長(代読:米盛宏文事務)が「アスリートや地域住民が参加。消費税引き上げ、早期の対策で税率の変更点や特例措置などを学び、増税に備える。協会での消費税講習は初試みで、協会の両方で優れた企業を目指してほしい」との中村会長(代読:長)の思いから開催。講師を川崎公認会計士事務所長の宇戸美明部長らが務め、軽減税率制度における対象品目のほか、区分



勤入れの儀を行う久徳社長＝大崎町の現地

また、消防分団新築の設計を担当する山下幸男代表(山下幸男建築設計事務所)が施設概要を説明したほか、久徳建設の久徳博文社長は「地域に配慮し安全第一で工事を進めていきたい」と力強く述べた。なお、旧菱田中学校の施設解体設計は小野設計が担当。



三反園知事に要望

同期成会は、出水市、阿久根市長、長島町の首長や議長らで構成。要望内容は、道路網等の基盤整備に力点を置いた。そのほか、島原・天草・長島架橋構想、20河川の寄り洲除去、県道荒崎田代線のバイパスルートを整備し、医師確保なども盛り込んだ。

南九州西回り自動車道では、阿久根川内道路が着工するなど前進が見られ、若北出水道路の水俣から出水間の供用予定年度等を求めた。

20人が能力向上

建設荷役車両安全技術協会(元南国建設サ)主催の離島地区研修会が13日から15日の3日間、奄美市のホテル「ウェストコート奄美」であった。特定自主検査業務に従事して5年以上経過した者を対象に実施しているもので、関係者延べ約20人が参加して能力向上に努めた。

講師は同支部の福山等事務局長はじめ、田中利雄氏(元コマツ建設販売)ら

奄美で研修教育

草・長島架橋構想など広域交通体系の整備が地域活性化には欠かせない」と話した。

研修会には奄美大島以外の各離島からも多くの参加者があり、時折メモを取るなど真剣な表情で講義に聞き入っていた。

ボックスで実施。それぞれ花粉、アレルゲン濃度の低減効果で同様な傾向を確認した。王教授は「アレルゲン等の低減メカニズムを調べる必要がある」とした上で「新素材開発の共同研究への継続と展開を検討している」と話した。

幻の漆喰は、有明海の赤貝の殻を主原料とし、同社独自の「光熱触媒」の技術で生成。建物内の有害物質の吸着・分解が特徴。また、ビニルアクリレートは、鉱物を主としたローラー等で簡単に施工できる商品としている。

浦上社長は「創業以来追及し続けてきた自然素材を使った健康建材が学術的に評価された。消費者にそのデータをもとに提案していった」と話した。

実験結果を説明する王教授(さつま町)の見学工場

消費税講習 特例措置などで対策

県建設協会(中村朋人)は16日、鹿児島市の県建設協会館で消費税の講習会を開いた。会員企業の経理担当者ら約70



記帳請求書等の保存方法を徹底して解説した。また、工事請負代金の消費税に、経過措置が適用されるケースがあるとの説明に参加者は注意深く聞き入った。

中村会長は「迫る増税に備えて事前の準備が大切と考へ、この講習を4月から計画していた。今後とも会員の要望があれば積極的に関与する」と述べた。

講義終了後受講者の質問が途絶えず、措置を受けるための書手日や引渡し日などが何度も確認されるなど、熱心に学ぶ姿勢と同講習の重要性がうかがえた。

南九州市で安全研修等

県産産資源循環協会(永田雄一会長)主催の産産廃棄物処理業における労働安全衛生研修会および産産廃棄物適正処理講習会・産産廃棄物排出抑制・リサイクル講習会が15日、南九州市市民交流センター(さつま町)で開かれた。

午前9時から12時までの安全研修には12人が出席し、産産廃棄物の労働災害発生状況や災害事例、リスクアセスメントなどについて受講した。

鹿児島労働基準監督署の赤木寛地方産業安全専門官は「死者が増加傾向にあること、人はミスをする。リスクの見直し、低減措置を繰り返していき、労働災害のない快適な職場を目指してほしい」と呼び掛けた。

午後からの適正処理等講習は会員内外から約40人が参加。県産産廃棄物リサイクル対策課の西浦圭一主任技術師と浅松由猛主任技術師が講師を務めた。南九州市環境局が主催する「産産廃棄物処理・リサイクル講習会」は、NPO法人エコサポート、NPO法人の久留正成理事長ら「環境経営システム」の導入と活用をポイントを解説した。

自然素材「幻の漆喰」

健康住宅建材の開発・販売を行うカイケンコーポレーション(浦上直社長、福岡市)の開発商品「幻の漆喰」が花粉症の原因物質への低減効果を証明する実験結果が得られた。このほど開かれた日本花粉学会で埼玉大学工学部



実験結果を説明する王教授(さつま町)の見学工場